

第 40 回 100 年史誌部会 議事録

日時: 2009 年 8 月 26 日(水) 16 時 10 分～17 時 05 分

場所: 重要文化財 2 階 会議室

出席者: 横山孝男部会長、松田則男、小山明夫、神戸士郎、小池邦博、高畑保之、片山政弘各委員、小室秀一編集局員、斎藤ひろみ編集補助員、小関栄助氏

欠席者: 栗野宏、大町竜哉、新関久一、奥山澄夫、山崎洋一郎、結城敏夫各委員

【配布資料】

- [資料 40-1] 大竹多気について [8 ページ/5 枚]
- [資料 40-2] 「百人の声」原稿依頼状況 2009 年 8 月 26 日 現在
- [資料 40-3] 『百人の声』「静脈システムの重要性」三瓶 秀雄
- [資料 40-4] 『百人の声』「これからの地方大学の役割」山岸 八千代
- [資料 40-5] 『百人の声』「機械工学から料理の道」杉浦 秀樹
- [資料 40-6] 『百人の声』「未来」池田 進
- [資料 40-7] 『百人の声』「グローバル化の中で地方大学に期待する事」武田 敏
- [資料 40-8] 『百人の声』「山形大学工学部の思い出」増村 すみ
- [資料 40-9] 『百人の声』「就職してから思うこと」一刀 弘真
- [資料 40-10] 『百人の声』「工学部の思い出」樋口 敏昭
- [資料 40-11] 『百人の声』「人材育成為せば成る!」松田 行雄
- [資料 40-12] ジャーナル進捗報告について(8.26) ((株)ぎょうせい細谷作成)
- [資料 40-13] 四つの象限と工学的風土論 象限 D-社会/間接 アルカディア・デッサン
- [資料 40-14] 福島～米沢の山越えのあゆみ 今月の話題 栗野 宏

I) 報告事項

1. 斎藤編集補助員から百年史誌部会 web site に関して報告があった。
 - ・ 山形大学 50 年史の第 1 章と第 7 章を pdf (画像スキャンデータ)化し、百年史誌編集局の資料ダウンロードサイトに置いた。1 ファイルは約 50MB 前後である。
 - ・ 今月の話題、栗野委員の「福島～米沢の山越えのあゆみ」を掲載した。
 - ・ 第 39 回百年史誌部会議事録を公開した。

II) 協議事項

1 100 周年記念誌

- (1) 小関栄助氏から米沢高等工業学校初代校長大竹多気氏の調査に関して資料 40-1 に基づき説明があった。

- ① 大竹多気氏が米沢高等工業学校長就任に際し、文学士・栗原古城氏によって雑誌「教育界」(明治 44 年)に文章を寄せており、その中で大竹多気氏の半生についての記述もあり、17 歳の時の本人の手による略歴も入手、大竹多気氏の生涯について多くのことが明らかとなってきた。
- ② 大竹多気氏が明治維新後、有馬私学校や攻玉社で英語教育を受けており、工部大学校在学中に小説の翻訳を行うなど、文学・詩歌の分野で活躍したことが明らかとなってきた。
- ③ 米沢高等工業が英語に力を入れていたのが、大竹先生の流れにあったことがわかる調査結果である、とのコメントが横山部会長からあった。

- ④ 小関氏が作成した年表について、展示また発表したい旨、要望が出され、プライベートな部分を削除すれば問題ないだろうとのことで、了承された。
 - ⑤ 年表については編纂室に電子ファイルを提出いただきウェブサイトに資料としておきたい旨、横山部会長から要望が出された。著作権に留意し、小関氏から大竹俊樹先生の許可を得て頂き、対応することとする。
- (2) 松田 J 班長から記念誌掲載の具体的事例のオーソライズに関して説明があった。
- ① 学部長と相談し、最先端ラボラトリーについて 5 つの研究室を対象とする提案があった(資料 40-12 ●最先端ラボ関係参照)。城戸教授以外は取材が完了した。城戸教授に関しては今後取材する。
 - ② 尾形教授(うごぎに関する研究)ならびに飯塚教授(米糠セラミックスに関する研究)の取材を行った。両教授の写真と話題は特集記事「四つの象限と工学的風土論 象限 D—アールカディア・デッサン」(資料 40-13)中に掲載した。
 - ③ 最先端ラボラトリーの候補に挙げられながら、採択されなかった先生方に関しては産学官連携やコラムに掲載する予定である。
 - ④ 特集記事・理系ガールズに関しては、取材対象としたい方が米沢以外に在住している、すでに退職しているなどの事情があり、考え直すこととした。
- (3) 松田 J 班長から「百人の声」の原稿執筆依頼の進捗状況に関して資料 40-2 に基づき説明があった。
- ① 資料 40-2 において新しく原稿が届いた執筆者を網掛けで示した。
 - ② 松田 J 班長から各執筆者に関してコメントがあった。杉浦秀樹氏(資料 40-5)は機械工学出身ながら現在は御茶ノ水で調理師をしている。一刀弘真氏(資料 40-9)は山形工業技術センター勤務である。松田行雄氏(資料 40-11)は工学部全体からのセレクトで住金コスモプランズの社長である、増村すみ氏(資料 40-8)、樋口敏昭氏(資料 40-10)は事務からの推薦である。
- (4) (株)ぎょうせい・細谷氏に代わり、松田 J 班長から記念誌の進捗状況について資料 40-12 に基づき説明があった
- ① 工学部長と工業会理事長との対談を、8 月 25 日、本館(重要文化財)の中で 3 時間かけて実施した。
 - ② キーワード・コンセプトに関して、松田 J 班長と内容をつめていく。
 - ③ 理系ガールズについて泉教授の取材を 8 月 26 日の午前中に取材を行った。また、機械システム工学科の現 4 年生、成績優秀で編入生の経歴を持つ宿谷野々子さん取材した。
 - ④ 村田氏の取材スケジュールならびに執筆スケジュールが立て込んできたため、村田氏に 2 名の執筆サポートをつけたい。間宮正光氏(千葉県在住、中世史専門)と石田治氏との報告を受けた。

2 100 年史

- (1) 横山部会長からヒストリー班のリーダーの件について提案があった。現在、小室編集局員ならびに斎藤編集補助員が記念誌の編纂にも加わっている。一方、ヒストリー班は栗野委員がリーダーと取りまとめなどを行っているが、一人では大変なため、高畑委員にも加わり二人の委員が担当する体制で取り組んでもらいたい旨、要望が出され了承された。

- (2) 今月の話題について、小室編集局員が栗野委員の執筆による「福島～米沢の山越えのあゆみ」について資料 40-14 に基づき報告があった。
- (3) 通史の進捗状況
- ① 小室編集局員から資料に関して、現在、教授会資料から抄録を作成している。昭和 48 年度分まで行った。1 年分の資料を約 2 週間かけて整理している。なるべく早く作業を進めたいとの報告があった。
 - ② 斎藤編集補助員が平成時代の年表の作成に苦慮している。90 周年記念誌以後の平成 10 年から進めている。平成 15 年までは大学の要項があるが、独立法人化した平成 16 年からの資料が無い。資料を集める方法について、良いアイデアまた資料があったら連絡して頂きたい旨、要望が出された。片山維子氏に依頼してそれに相応しい資料を収集していただくこととした。
 - ③ 小室編集局員から、通史の執筆に利用できる資料に関して執筆者に渡せる最近の資料は生の教授会資料程度であるため、工夫が必要である旨コメントがあった。

III) その他

1. 次回の会議は **9 月 28 日 (月)** 16 時 10 分から**旧本館二階会議室**にて行う。
2. 横山部会長から、山形大学工学部 100 周年記念フォーラムとして 9 月 4 日に伝国の柱で予定されている地域活性化リレーションシンポジウム in 米沢に大竹多気初代校長の展示企画をするよう史誌部会に要請があったが、今回は見送ることにした旨、報告があった。
3. 横山部会長から小関氏からは大竹多気初代校長に関する研究として貢献いただいている。この成果を記念誌ならびに百年史に活かす方向で考えていただきたい旨、要望が出された。小関氏が作成した大竹多気初代校長に関する資料を(株)ぎょうせいにも渡すよう指示があった。

2009 年 8 月 31 日